



埼玉県NPO基金 ニュース



埼玉県マスコット
コバトン



Contents

| | | | |
|-----------------|-----------|-------------------------|------|
| 寄附者のご紹介/ごあいさつ | P 2~3 | NPO元気なまちづくり助成事業 | P 17 |
| 基金を活用した助成事業の紹介 | P 4~17 | 平成25年度実施のNPO基金事業 | P 18 |
| NPO活動促進助成事業 | | 埼玉県NPO基金を支える 3つの寄附方法 | P 19 |
| NPO活動サポート・ネーミング | (P 5~9) | ご寄附のおねがい | |
| NPO活動サポート・分野指定 | (P 10~14) | ・インフォメーション | P 20 |
| 共助モデル推進事業 | P 15 | | |
| 地域課題解決型協働事業 | P 16~17 | | |

平成24年度にご寄附いただいた皆様

御支援をいただきありがとうございました。

平成24年度の寄附合計額: 14, 017, 544円



企業・団体等の皆様

(株) オールアシスト 様
 (株) グリーン企画社 様
 秩父温泉(株) 様
 (株) ウィズコーポレーション 様
 守屋八潮建設(株) 様
 トキタ種苗(株) 様
 (有) ノリス 様
 キリンビールマーケティング(株)埼玉支社 様
 富士パン粉工業(株) 様
 (医)鴻生会小室クリニック 様
 (株)市之瀬電設 様
 仏教子ども救援基金 様
 入間ガス(株) 様
 三州製菓(株) 様
 協和化工(株)埼玉工場 様
 (株)飯野製作所 様

(株)富士薬品 様
 (有)さいたま典礼 様
 (株)ユーディケー 様
 (有)中里商店 様
 国際ロータリー第2770地区 様
 (株)小山本家酒造 様
 毎日興業(株) 様
 埼玉県遊技業協同組合 様
 (有)利忠 忠屋本店 様
 (社)埼玉県環境検査研究協会 様
 東京ガス(株)埼玉支社 様
 (有)ナトーライフコンサルタント 様
 (一財)さいたま住宅検査センター 様
 アサヒビール(株) 様
 (医)群羊会 様
 (一社)埼玉県医師会 様

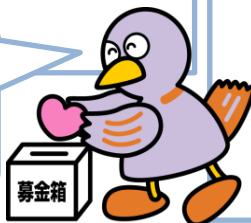
個人の皆様

江利川 毅 様
 菅山 修二 様
 須田 沃 様
 相良 節子 様
 石井 清江 様
 野中 明彦 様
 田島 和雄 様
 野口 英明 様
 田坂 英樹 様
 新村 雅彦 様
 中澤 英彦 様
 佐藤 清 様
 川名 はつ子 様
 福田 望 様
 河登 一郎 様
 斉藤 勉 様
 武田 茂夫 様
 吉岡 信彦 様
 茂木 正 様
 米満 紀彦 様
 川南 麻衣子 様
 志塚 昌紀 様

匿名希望 2団体 様

※寄附申込順に御紹介しています

NPO基金の募金箱に御寄附
 いただいた皆様、
 ありがとうございました!



匿名希望 15名様

ごあいさつ

「埼玉県NPO基金」は、平成16年度に創設して以来、県内外を問わず多くの皆様の御支援をいただいています。

皆様からの御厚志は、子育て支援やまちづくり、環境保全など、様々な分野で課題解決に取り組むNPOの活動支援に活用させていただいております。

この「埼玉県NPO基金ニュース」は、皆様からの御寄附を原資として、平成24年度に実施された事業の成果をまとめたものです。地域で活躍しているNPOの活動の一端を御理解いただければ幸いです。

今後とも共に支え合う社会づくりの一翼を担うNPOの活動支援を通じ、「日本一の共助県」を目指してまいります。

皆様の一層の御支援、御協力をお願いいたします。

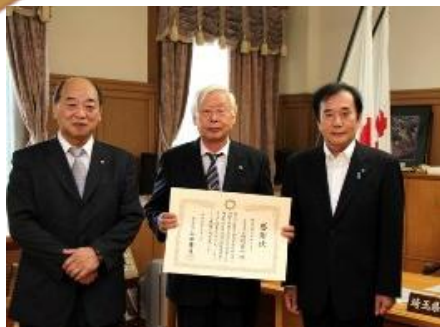


埼玉県知事 上田清司



感謝状贈呈式を行いました

NPO基金へ多大なご寄附をいただいた皆様への感謝状贈呈式を行いました。



(株)ウィズコーポレーション 様



キリンビールマーケティング(株)埼玉支社 様



トキタ種苗(株) 様



(株)富士薬品 様



(株)小山本家酒造 様



埼玉県環境検査研究協会 様



アサヒビール(株) 様



さいたま住宅検査センター 様



工藤 正夫 様 (H23年度末贈呈)



名画をデザインした協力証です

1万円以上の御寄附を頂いた方へは、「協力証」「オリジナルステッカー」を贈呈いたします。
(個人・法人を問いません。また、累計により1万円に達した場合も贈呈いたします。)



可愛いコバトンのイラストつき「NPO-en団」ステッカー



基金を活用した助成事業の紹介



NPO活動促進助成事業

NPO活動サポート事業

NPOの特性を生かしたアイデア・視点で実施する独自性・先進性のある事業に対して助成する制度です。分野希望寄附を原資として、以下の分野で活動するNPOに対し支援しました。

《H24年度実績》

【分野指定枠】：

「環境保全」「まちづくり」「みどりと川の再生」

助成件数3件 助成金額合計 1,409千円

【ネーミング事業】

「地産地消・食育」「保健・医療・福祉」

「子どもの健全育成」「地域安全」「みどりと川の再生」

助成件数8件 助成金額合計 6,401千円

みんなでサポート事業

県民や企業の皆様などから寄せられた「団体希望寄附」を原資として、基金登録団体の活動を財政面で支援する制度です。

《H24年度実績》

助成件数 23件（20団体）

助成金額合計 12,452千円



共助モデル推進事業

H24年度の新規事業です。NPOが「つなぎ役」となり、地域における安全・安心向上、子育ての支援、高齢者支援などの共助の仕組みを構築する事業に対して助成しました。

《H24年度実績》

助成件数 3件

助成金額合計 2,452千円



地域課題解決型協働事業

NPOと行政や企業、大学、地域団体等の多様な主体が協働し、福祉や環境、子育てなど地域社会が抱える課題の解決に取り組む事業に対して助成しました。（H23年度からの継続事業が対象）

《H24年度実績》

助成件数 4件

助成金額合計 3,544千円



NPO元気なまちづくり助成事業

NPOが活動する地域の拠点を増やすとともに、住民交流の機会を創出し、地域で支え合うという共助意識を高め、地域をより良くする「住民交流を目的としたまちづくり」に対して助成する制度です。NPOが取り組む施設整備に対して助成しました。

《H24年度実績》

助成件数 1件（活動拠点の整備事業）

助成金額 1,251千円

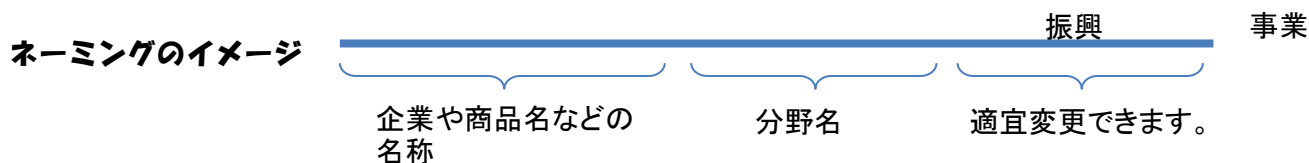


寄附者による ネーミング事業 とは？

埼玉県NPO基金に50万円以上の「分野希望寄附金」をいただいた場合に、寄附者の方に県が実施する助成事業の「愛称(ネーミング)」を付けていただく制度です。

◆◇愛称の付け方◆◇

寄附者の方が付ける愛称の基本構成は、原則として企業名や商品名等と、希望分野を組み合わせたものとなります。



◇◆NPOへの助成◇◆

原則、毎年12月までの寄附を取りまとめ、翌年の4月から愛称を付けた名称でNPOからの募集を開始します。県が設置した審査委員会で審査を行い、採択した事業に県から助成金を交付します。助成を受けたNPOは事業報告会(公開)で成果等を発表します。

| ネーミング事業名 | 分野 | 助成団体及び実施事業 |
|-------------------------------------|----------|---|
| キリンビールマーケティング(株)埼玉支社 地産地消・食育応援事業 | 地産地消・食育 | (特)食育研究会MoguMogu 生産者と料理人と一緒に出向く食育 |
| 武蔵野銀行創業60周年記念 医療・福祉振興事業 | 保健・医療・福祉 | (特)パソコンヘルパー協会 障害者就労支援事業「輝きたい障害者を応援します」事業 (特)越谷成年後見支援センター 成年後見に関連するテーマの市民講座と無料相談会 |
| 武蔵野銀行創業60周年記念 子育て支援事業 | 子どもの健全育成 | (特)彩の子ネットワーク こども☆夢☆未来フェスティバル2013 (特)子ども文化ステーション 病気とたたかう子どもたちのための舞台芸術との出会いモデル事業 |
| 武蔵野銀行創業60周年記念 地域安全支援事業 | 地域安全 | (特)住まいの安全と防犯の会 大地震に備えて人の命と財産を守るための地域安全出前講座活動 |
| 金紋世界鷹 みどりと川の再生 環境保全事業 | みどりと川の再生 | (特)森臨隊 みどりと川の再生事業 身近な里山再生と森林資源活用プロジェクト (特)木の家だいすきの会 すぎんこプロジェクト |

地産地消 ・ 食育

キリンビールマーケティング (株) 埼玉支社 地産地消・食育応援事業

生産者と料理人と一緒に出向く食育

(特) 食育研究会MoguMogu (さいたま市)

食べ物や食生活に正しく客観的に関心を持ち続ける人を増やすために、ワクワク、楽しく食の体験ができる機会を作り出そうと、様々な食の職業人たちと連携して体験イベントを企画しています。

いま「食育」で大事なものは、関心がない、その機会を得ていない人々の存在です。その課題解決のために、今回は出向く先を小学校に絞り、その地域の農産物と生産者を小学生に紹介しつつ、地元特産品を使った料理をプロの料理人と一緒に作り、みんなで試食する機会を作りました。ベースには味覚教育を置き、好き嫌い対策も視野に入れつつ、日本のうまみを強調することで「ふるさと埼玉」だけでなく「日本の誇りの味」も強調しました。合計700人を超える子どもと教諭にそれぞれの地域の特産物への関心を喚起しました。

本物の料理人や生産者に触れ、また試食や五感五味の体験を通して、食への関心と地元の食文化への誇りが生まれました。この結果と出会いを活かし、継続的な活動にしていくためアピールを続けます。



保健・医療 ・ 福祉

武蔵野銀行創業60周年記念 医療・福祉振興事業

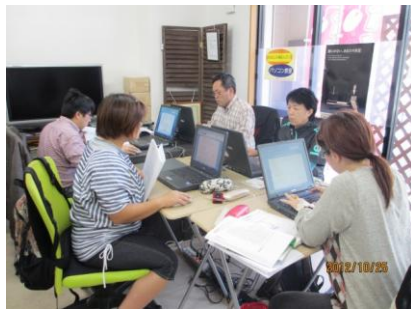
障害者就労支援事業「輝きたい障害者を応援します」事業

(特) パソコンヘルパー協会 (さいたま市)

障害者や高齢者へのパソコン支援をしています。就労を目指している障害者には、文字入力や表の作成ができるまでを支援しています。支援する人はシニアパソコンボランティアです。シニアボランティアが活躍しています。

就労を目指す障害者にパソコン基礎と就職活動をセットした研修をします。パソコン基礎ではパソコン資格試験対策を学び、就職活動では履歴書と経歴書の作成および正しい挨拶とお辞儀の方法を学びます。1回6人のコースを3コース用意し、それぞれの人が目標を持って学習します。日商PC検定試験にはワード系とエクセル系があり、ベーシックから3級と勉強していきます。模擬問題で試験対策し、研修期間中に受験し、合格を取得しました。

研修の結果として、パソコン資格は文書作成ベーシック7名、データ活用ベーシック4名、文書作成3級2名が合格しました。就職率は42%でした。今後は、就労を目指す障害者に学習の場を提供していきたいです。



成年後見に関連するテーマの市民講座と無料相談会

(特) 越谷成年後見支援センター (越谷市)

当法人は、越谷市の行政書士が中心となって、成年後見制度の普及啓発と任意後見・法定後見等の後見事務の受任及び成年後見人受任者の支援・相談を行うことにより、地域の高齢者・障害者の福祉の増進に寄与することを目的に活動しております。

今回の助成金を受けて、偶数月の第1土曜日に、越谷市内の公共施設において一般市民を対象とした無料講座を実施しました。当法人の会員のほか、専門家の方に講師を依頼することで、成年後見制度に関するだけでなく、年金、相続・遺言、葬儀、薬物乱用など、生活に密着するさまざまなテーマの講義を行うことができました。また、各回とも講座終了後には当法人会員の行政書士による後見制度・相続等の無料相談会を実施しました。

今回の事業は毎回多くの方に参加していただき、好評のうちに終了することができました。今後も工夫を凝らし、より充実した講座を実施するとともに、後見人等の受任、電話によるお悩み相談など、一層の積極的な事業も展開し、成年後見制度の更なる普及啓発に努めていきたいと思っております。



こども☆夢☆未来フェスティバル2013

(特) 彩の子ネットワーク (上尾市)

子育てしている当事者が、みんなで子育てする地域社会を目指し、一緒にやろうと呼びかけながら主体的に活動をつくっています。さいたま市子育て支援センターさいのことう上尾市つどいの広場あそぼうよを運営。赤ちゃんサロン、シングルマザーサロンの他、年1度「こども夢未来フェスティバル」を開催しています。



「こども☆夢☆未来フェスティバル2013」を2013年2月24日(日)に開催しました。「子どもと一緒に未来をつくる!」をテーマに呼びかけ、150もの団体・企業が実行委員会に参加し、当日は1万人の来場者数となりました。子どもも大人も思い思いに活動を紹介したり、遊んだり、販売したり、それぞれの部分で主役になって楽しみました。子どもたちは、初めて知ったことがいっぱいあり、この日の夜は、それを家の人に話したくておしゃべりがとまらなかつたという感想が寄せられました。

毎年この催しを開催しようと実行委員会で話し合うことができました。実行委員としての参加や、協賛や協力等、子育てを応援する個人・団体・企業に呼びかけることを今後も続け、社会のレベルで子どもを大事にしていくには、どうあったらいいかを探していきたいです。

病氣とたたかう子どもたちのための舞台芸術との出会いモデル事業

(特) 子ども文化ステーション (さいたま市)

当法人は、子ども・文化に関する多彩な活動を企画・実施することによって、子どもが豊かに育つ地域・日本社会づくりを目指しています。主な活動は、①子育て支援 ②子どもの異文化交流 ③子ども芸術文化 ④子どもの社会参画 ⑤子どもと高齢者の交流です。

病氣や疾患で入院・通院している子どもとその家族及び病院関係者を対象に、プロフェッショナルによる本物の舞台芸術と出会うためのプログラム「シアタースタート～病院バージョン～」をモデル実施しました。具体的には「県立小児医療センター」及び「土屋小児病院」で人形劇と音楽の2企画を8回公演しました。そのことによって、病氣で苦しむ子どもやその家族の心を癒し感動と喜びを伝え、病氣とたたかう勇気を生み出す契機とすることができました。参加者及び実施した病院の評価は高く、期待も大きく膨らみました。



今後は、継続実施と、報告書を活用して、芸術文化による心のケアのためのシアタースタートの必要性を発信し、病院で活用できるプログラムとして普及啓発をすすめていきます。

武蔵野銀行創業60周年記念 地域安全支援事業

大地震に備えて人の命と財産を守るための地域安全出前講座活動

(特) 住まいの安全と防犯の会 (新座市)

当法人は、耐震対策を取り入れた1981年の建築基準法以前に築造された家屋(主に木造住宅)に対する耐震化対策の普及活動や大地震発生時、孤立しやすい高齢者、幼少時等の指定避難場所等までの誘導と家族・隣近所との連携促進策の普及、避難経路の環境整備などを行っています。

今年度は、地域安全のための小地区別出前講座として、主に地震による損傷破壊等の恐れのある建物にお住まいの方を対象に、家屋の震動実験映像・各地の災害パネルやスライド、簡易耐震診断・自宅精密診断(希望者)無料、質疑応答とその場で黒板等にて即答形式の講座を実施しました。(小地区別・市内の町会単位で、集会所等の各公共施設にて出前講座と個別簡易診断所=市内の地域別8か所実施)また、地域安全イベントにはボランティア60人もの参加がありました。新座市民まつり、いきいきフェスティバルへの出店活動も行いました。



出前講座は、町内会やグループ団体より多数の希望あり、25年度中に7回実施したいです。高齢者等の災害時の避難方法の普及策をあわせて行うことを考えています。環境整備として、ボランティアを増員継続し、この部分の啓発運動の契機としたいです。



すぎんこプロジェクト

(特) 木の家だいすきの会 (所沢市)



「森に緑を、住まいに木を」を理念として、日本の木を使った家づくりを推進することで、日本の森の保全を図るとともに、市民を対象に「森と都市の交流」をテーマとした活動を行っています。

すぎんこプロジェクトは、次代を担う子ども達が、本物の生きた自然素材に触れることで、木の良さを知る機会とするとともに、木を大事に使うことの大切さを学ぶ機会としたいと考え、森林保全活動とその森の木を使った児童クラブの床張ワークショップを実施しています。

平成24年度は、「森と木に学び、共に育つ木育プログラム」をテーマに、日常の学童の活動に活かせる、児童クラブ指導員向けの木育の手引き(案)の作成に取り組みました。



みどりと川の再生事業 身近な里山再生と森林資源活用プロジェクト

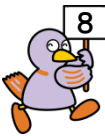
(特) 森臨隊 (小川町)

放置され荒れた森林・里山の再生・維持活動を、その活動で生まれる林産物を再生可能エネルギーである薪炭燃料、キノコ栽培の原木、肥料用のチップ等に活用することで、森林資源を無駄なく利用する活動に取り組んでいます。



比企郡小川町内にある放置林のうち、約2,000㎡(600坪)の下草や篠竹刈り、育ちすぎた樹木の伐採を行うことで、里山の陽当たりと風通しを良くするとともに、伐採した樹木の切り株から彦生えによる萌芽更新を促し、里山としての再生・若返りを図りました。伐採した樹木は、薪炭燃料、キノコ栽培原木、木工素材として使える部位を選別・搬出し、刈り取った篠竹全量と樹木の小枝は肥料用のチップに加工することで、すべてを林産物として活用できるようにしています。

林産物としての活用は、当初の目的を達成できました。事業の成果を見た地元の方々から事業継続の要望があるほか、他の里山の所有者からも再生活動の依頼があり、今後も同様の事業を継続・発展させて行く予定です。



NPO活動促進助成事業(NPO活動サポート・分野指定)

環境保全

中小事業者向け省エネ・省資源活動支援ツール
「やさしいCO2削減シート」の普及啓発活動

(特)彩の国環境活動推進会
(富士見市)



県内中小事業者への環境経営マネジメントシステム（主として、エコアクション21）の普及・啓発活動や環境法令及び省エネ・省資源の取組事例等のとりまとめと指導を行うほか、定期的に環境フォーラムを開催し、事業者への環境関連情報の提供を行っている。

埼玉県温暖化対策課との協働で作成した、中小事業者が節電や省資源活動を簡単にできるシート（やさしいCO2削減シート）を普及させる事業。普及にあたりこのシートが中小事業者にとって経費削減の継続的取組みにつながることを説明し、自主的に活動してくれることを期待したものである。結果、埼玉県全体のCO2削減に寄与する取組み（ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050）に貢献するものである。

シート回収率は8%（目標20%）であったが、普及活動を通じて、地域の商工団体が独自に取り組んでいる事例並びに中小事業者の悩みや課題が見つかった。今後は、このシートが事業者にとって有意義なものとなるような登録制度などに展開したい。

まちづくり

新しい地域づくりを目指して
コミュニティレストランフォーラムin 埼玉の開催

(特)鶴ヶ島市学童保育の会
(鶴ヶ島市)

当会は鶴ヶ島市内7小学校区11学童保育室（入室児童数640名）の運営（34年目）と2007年からは指定管理受託による児童館、2009年からは、食を核とした地域の居場所として、コミュニティレストランここほととの運営を始めました。それぞれの施設を「地域の発信基地」として「鶴ヶ島の子どもたちは、鶴ヶ島市民で育てよう」をスローガンに、様々な市民団体と連携して、イベント企画や地域行事等の参加を積極的に行っています。さらに子どもたちだけではなく、高齢者、障害者にとっても住みよいまちであってほしいという願いのもと、「まちづくり」を視野に入れた活動を展開しています。



「食を核とした地域の新しいコミュニティの場」としてのコミレスを「NPO」として起業し、運営できる人を養成するとともに、まちづくり、地域の新しいコミュニティづくり、コミュニティの再生の核となる機能をもったものとして社会に提案し、拡げていくことを目的に、コミレスアピールを兼ねての①食育講座（旬の味覚 きのこ講座、アレルギーの子のための食育実践講座）②人材育成講座（ひととひとをつなげるコーディネーターの養成、継続した運営をしていくためのスキルアップ研修）③新しい地域づくりを目指して「コミレス、コミカフェ 埼玉フォーラム2013」の開催、を実施しました。

この事業を通し、コミレス、コミカフェの社会的役割を多くの方々には知っていただけたことは大きな成果です。さらにコミレス、コミカフェをひろげていくことと、今後、再認識・再評価をして「新しい公共の場」としての自立を目指し、継続していくための経営力のステップアップを図っていきたいです。そのための支援機関として「コミレスサポートセンター」機能の可能性を研修し、実現に向けて取り組んでいきたいです。

みどりと川の再生

浄化槽が決め手 アユが遡上する川に

(特)東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ水フォーラム
(戸田市)



関東の水環境について研究し、河川環境保全に努めている。川の水質改善は主要なテーマであり、家庭排水のマナー改善は急務なことから、浄化槽の維持管理向上に取り組んでいる。

6年前、「川にやさしい浄化槽フォーラム埼玉」を立ち上げ、排水マナー、浄化槽のマナーに着目して活動してきた。63市町村ごとに、住民、業者、行政の連携による「浄化槽地域協議会」を設立してすばらしい成果が次から次へと生まれ、全国に誇れる実績も生まれている。

地域協議会は26市町村で実施、残り37市町村は継続して取り組む。新たに住民啓発のため、町会単位で講習会の企画をする。



NPO活動促進助成事業（みんなでサポート）

保健・医療・福祉

（特）新座子育てネットワーク（新座市）



親子のフリースペースHugを利用する乳幼児の親を対象とした食育教室を開催。Hugでのお弁当ランチ会を企画し、栄養士をゲストに迎え、前半40分は離乳食や幼児食についてのミニ講座、後半50分はランチを食べながら質疑応答形式で講座を行った。アットホームな雰囲気の中、食のバランス等の基礎知識も学び、乳幼児期の食に関する疑問解の参考となった。個人的な質問の時間もとったため、その子どもに合わせた食事の仕方も学べる講座となった。

（特）共生フォーラム（さいたま市）

私たち共生フォーラムは、現在、「カンボジアの子どもたちから元気をもらおう大作戦！」という名のもとカンボジアでのNGO活動を積極的に展開しています。そして、日本の医療や福祉、NPO活動について知っていただくため5名の留学生を受け入れ、支援しています。はじめてのおつかいならぬ、はじめての電車、はじめてのスイカカード、初めてのカップ麺、初めての寒さ、雪等、初めてづくしの日々の生活に戸惑いながらも5名が「絆」チームとして愚直に頑張る姿から学ばせていただくことが多々あります。

カンボジア人と交流したい県民の方は、お気軽に事務局までご連絡いただければ幸いです。



（特）だいちの会（入間市）



私たち「だいちの会」は、入間市での唯一の重度障がい者が通うデイケア施設「あすなろ」を運営しています。今回のコンサートは、障がい者が地域社会に積極的に参加し、一般市民の方に、障がいに対する理解を深めていただく機会として障がい者も一般市民も共に楽しく参加でき、交流を深めることを目的として実施いたしました。このコンサートが良い交流の機会となり、参加者からも高い評価をいただきました。

また出演したピアニストの内藤さんは、毎週「あすなろ」に音楽ボランティアとして、一緒に活動してくださっています。

（特）土と風の舎（川越市）



土と風の舎ではハーブを育てて健康づくりに活用することを事業のひとつとして実施しています。今回は藍染と染めた糸を使った指編みの体験を通じて、ハーブを使った健康づくりのノウハウのまなび、またいろいろな世代の人たちとの交流をすすめることを目指して、この事業を実施しました。子育て中の親子、高齢者、障がいのある人など11組18人の幅広い人たちに参加いただき大変有意義な活動ができました。



保健・医療・福祉

(特) ピュア・スマイル (上尾市)



当法人は、主に重症心身障がいの方々に通所する生活介護事業所を運営しています。

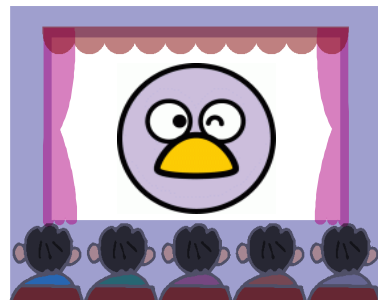
今回助成金で、大型テレビ・遮光カーテン・ブラックライト機能付きパネルシアターセットを購入しました。この備品を活用することで、集団で参加する行事やお話会などの際に、障がいの重い方々でも注目しやすい環境が整いました。

今後さらに工夫して、新しい取り組みにチャレンジし、活動内容の充実を目指したいと思います。

まちづくり

(特) すぎとSOHOクラブ (杉戸町)

すぎと移動映画館プロジェクト。10月、大人向けワークショップとして「幸せの経済学」を上映。幸せとは何か？経済発展こそが望むべき姿なのか？今だからこそ考えなければいけない。など、多くの意見が寄せられた。2月には、幼児向けアニメ映画を上映。みんな目の前に広がる大きな画面と迫力ある音にくぎ付け。そんな幼児たちを眺め、思わず微笑む大人たちの姿のほうに印象的だった。予定された回数を達成できなかったが、今後も機会を見つけ続けていきたい。



(特) まち研究工房 (戸田市)



この助成をいただき、引き続き2箇所の「おやすみ処」（街かどの小さな休憩・ふれあいスポット）を適切に管理できたことにより、お年寄りなどの市民が歩行中の休憩や談話スペースとして「おやすみ処」を日常的に利用することができました。

また、当活動に関心を寄せる県外の自治会等の方々「おやすみ処」の現場視察に来訪するなど、当活動を広く周知できたとともに他の街における取組の参考にもなったと思います。

学術・文化・スポーツ

(特) 市民シアター・エフ (深谷市)



私たちは街なか映画館「深谷シネマ」を運営しているNPO法人です。今回、「映画教室」や「地域映画会」で使うスクリーンを購入しました。大きな画面でより良い映写効果で「映画」を楽しんでもらいます。また、「映画看板」を旧中仙道沿いに設置しました。2.1m×1.7mの大きな看板です。1か月分（4作品）のポスターが貼れて、一目で映画情報が分かりとても好評です。

深谷の街なかと商店街の賑わいづくりに貢献していきます。



学術・文化・スポーツ

(特) 埼玉県愛瓢会 (所沢市)



所沢市老人福祉センター・「緑寿荘」を主会場に所沢市瓢箪クラブとして活動をしており年間6回(偶数月)に季節に合わせたひょうたん人形作り(お雛様、サンタクロース)。作品は緑寿荘のミニギャラリーに10日間展示、高齢者同士の「和」を生み高齢者のコミュニケーションの向上にも寄与、事業の成果を実感しており更なる運営工夫を図り、発展を期したい。

環境保全

熊高森づくりの会 (熊谷市)



熊高森づくりの会は平成20年7月5日に設立されました。当会では熊高の校歌に歌われた荒川水源地の一つである長瀬町宝登山に悠久の森づくりを行っています。この活動により熊高に学んだ卒業生、在校生のほか、地域住民などの多くの人たちが集い、交流を図るとともに地球環境の保全や水源涵養等に寄与したいと考えています。

会員数は約800人。事務局は熊高同窓会館「くぬぎ会館」内。

鴻巣の環境を考える会 (鴻巣市)



元荒川の豊かな自然再生を目的として、鴻巣市内小中学校の総合的な学習時間を利用して、水質検査、生き物観察、エコライフDAY2012などの参加者拡大につなげ、地球温暖化防止対策を実践できた。

元荒川の水温、透視度、pH、CODなどの水質調査を体験学習し、メダカ、フナ、ドジョウやカエルなどの生きものに感動し、省エネや節電など地球温暖化防止対策に興味をもつ子どもを育成する体験学習の環境教育ができた。

(特) 環境ネットワーク埼玉 (さいたま市)

埼玉県知事より「埼玉県地球温暖化防止活動推進センター」の指定を受け、温暖化防止の活動を主に行っています。最近では自然エネルギーの関心が高くなっており、当団体が6年前から行っている「埼玉お日さまクラブ」では、自然エネルギー導入への普及啓発活動として、「太陽光市民共同発電所」の設置を行っています。今年度は4号機の設置を目指し、ちらしやHPを通して情報発信を行いました。またネットワークの拡大を目指し、フォーラムを開催しました。



環境保全

(特) 埼玉エコ・リサイクル連絡会 (さいたま市)



8月に行った永田製紙(株)と吉田元気村の研修見学会は、新たなエネルギーの可能性として、廃プラスチックの利活用の一つとして油化及び発電を始めた紙の再処理事業者と秩父市内に豊富にある未利用の間伐材や森林残材等(木質系バイオマス)を燃料としてガス化し、バイオマス発電事業を行っている次世代型環境学習施設を見学しました。

11月には「環境を汚染する商品とはどんなもの？」をテーマに学習会を行いました。2月の「エコ・リサイクル交流集会2013」では、行政・事業者・市民の3つの立場から、エネルギー創出と省エネの取り組みを事例発表を行いました。

(特) 川口市民環境会議 (川口市)

環境に対する子どもたちの気づきをとの思いのもと、十数年前から「エコライフDAY」をはじめとする活動を開始しました。

近年は地球温暖化や原発問題をはじめ、私たちを取り巻く環境は厳しさと複雑さを増しており、解決に向けて行政・企業・団体・一般市民が一体となって、より具体的に活動していく必要性を痛感しています。現在、「環境出前授業」や「マイ箸づくり」などの収益事業も含め活動のすそ野を広げていますが、より多くの方々との連携も視野に活動を展開したいと思っています。



人権擁護・平和推進

(特) 高齢者・障害者サポートクラブ (毛呂山町)



本法人の事業所所在地は、最寄駅も比較的離れている状況から、移動手段はどうしても車の使用が不可欠です。昨年NPO基金の助成を受け、軽自動車リースを導入いたしました。業務上の出張も多く、活動内容の充実に車は欠かせないものになりました。この助成を活用し、軽自動車のリースを継続することにより、業務内容(障害者等の福祉)拡充に向け、職員一丸となって努力してまいります。

国際協力

(特) ivory space (さいたま市)



当団体では、多文化共生の視点に立って、東南アジア地域を中心に草の根レベルでの教育協力や相互交流などを行うと同時に、交流を通じて地域社会を考えるキッカケとなることを志向しています。また、ivory spaceと銘打った少人数の茶話会では、異文化やアジア地域理解に留まらず、身近な関心事や日本文化理解まで幅広いテーマで実施するように心がけています。

ちょっとした関心から世界が広がり、世界とつながる草の根活動をモットーとしています！

国際協力

(特) 燈台（北本市）

通算25周年を経過して日本とアフガニスタンの友好親善の一助になればと願って活動に取り組んでいる。医療面では健康に役立ち、教育面では将来アフガニスタンの国を担う人材を育成することが期待されている。



ジャグリー・ヌール学校(小・中・高等学校)で1200名の生徒が学んでいます。



カブールのマラリヤ・リーシュマニアクリニック
(風土病の集中治療の様子)

(特) ふじみの国際交流センター（ふじみ野市）



平成24年7月から在日外国人も日本人と同じ住民基本台帳に記入されるようになりました。外国人も今や私達と同じ市民として認められたわけです。そんな彼らに日本の暮らしについて正しい情報を提供したいという思いで冊子を配布しています。

今年もNPO基金の助成を受けて、「住居編」と「入管編」を300部ずつ発行することができました。埼玉県人口の60人に1人が外国籍だそうです。本誌を読んでいただく外国籍市民が、悩みを減少させ、あるいはこうした相談を当法人が行っているということを知ること、大事に至る前に問題を解決できるということを成果として期待しています。

子どもの健全育成

(特) みれっと（さいたま市）



食物アレルギーの子育てストレスで追いつめられる母親たちに、『おひさまカフェ』という安心できる交流の場を作り、同じ立場の仲間との交流や、悩みを相談する場を提供することができた。

先輩の親たちが提供する、アレルギーと食材に配慮したメニューは、外食の機会が得にくい食物アレルギーの親子にとって、緊張を解いてストレスを軽減し、明るく育児にとりくめる場になった。

団体の運営又は活動の支援

(特) NPO埼玉ネット（さいたま市）



平成24年12月20日、埼玉県浦和・大久保合同庁舎1号館において、被災者中間支援団体約30名の参加で、市民キャビネット災害支援部会/（特）災害支援団体ネットワークの協力を得て、福島県川内村に設置される「かわうち放送局」のラジオ・映像システムのデモンストレーションを行い、講演内容を公開収録・配信した。講演内容は「かわうち放送局」（<http://npikawauchi.npgo.jp/>）で配信中。

講師 後藤真太郎（立正大学・地球環境科学部・環境システム学科教授）
山中 邦久（NPO法人ワーク埼玉・バイオマスエネルギー市民研究会）



この事業により、被災者団体および埼玉県内の市民団体を地域SNS等のネットワークで結び、豊かな市民社会づくりに貢献できた。

共助モデル推進事業

共生・共助・連帯＝農村と街の交流を紡ぐ仕組みづくり

(特)さいたま自立就労支援センター

(さいたま市)

平成16年以来農業を基軸とした就労支援活動をして来ました。特に働く意欲があっても就労機会に恵まれない人達と共に、耕作放棄地を耕し自給自足の道を拓き、その実現を果たし、今は更に障害者の方々への支援活動をすると共に、限界集落化している農村との連携を目指した村と街を繋ぐ活動をしています。

中山間地の農村の野菜及び地元の「いずみ亭」のそば打ち実演と即売会を、さいたま市北区のステラタウンで実施し、農村と街の人々の交流の機会を作りました。また、街の人々に農村の良さを知ってもらう為、史跡めぐりや農家の方々のお話を聞く機会等もつくりました。



まだその目的達成途上ですが、24年度の活動をとおして学んだことや改善すべき事を念頭に、共助社会づくりの仕組みを粘り強く実現を果たしていきたいと思っております。

「狭山安心お助け隊」設立及び運営コーディネート活動

(特)コモンズ

(狭山市)

当法人は、地域住民がいつまでも「自分らしく」「安心して」「生き活きと」暮らせる社会を創造することを目的として平成23年9月に設立しました。目的実現のために、高齢者や障がい者を始め誰もが、住み慣れた地域で安心・安全に支え合って暮らすための仕組み作りをコーディネートしています。24年度、県の助成を受け「地域支え合い活動担い手養成講座」の講座修了生と共に、見守り便利屋活動「安心お助け隊」や野良カフェを運営しています。



当法人は、3つの事業実施を柱に運営しています。一つ目は、地域ニーズの解決に向けて、サービスの担い手として積極的に行動する地域のリーダーの育成を目的とした講座の開催です。これまでに39名の講座修了生を輩出し、多くの方々地域活動の担い手として活動しています。二つ目は、地域とのつながりを育むコミュニティ・スペース、そして地域の情報発信ステーションとしてコミュニティ・カフェの運営です。三つ目は、地域の高齢者及び障害者の皆様の見守り・困りごと相談を行うサポートセンター及び困りごとを解決し支え合って生活する「安心お助け隊」の運営です。

「元気な団塊世代が障害者と世代間交流するための
楽しいパソコン体験教室」開催事業

(特)生涯学習コーディネート協会

(さいたま市)

高齢者や障害者にパソコンの楽しさをお伝えしています。障害者施設にパソコンを持って行って、季節に合わせた作品を皆さんと一緒に作成しています。これまでは年賀状やクリスマスカード、ありがとうメッセージカード、誕生日カードなどを作成しました。また、出来あがった作品はプリントしてお渡ししています。お手伝いしているのはシニアのパソコンボランティアさんたちです。高齢者や障害者のレベルに合わせて楽しんでいきます。

9月と10月に2日間で12時間のパソコン支援研修会を開催しました。ここでは、パソコン講座の運営と実行のスキルを学びました。次に障害者への支援の方法や文字入力の説明の仕方およびワードを使った年賀状の作成の方法を学びました。シニアの参加者は20名で、各5名で4グループに分け、グループごとにメインとサブの役割を決め、どのようにパソコン講座を進めるかを計画し、練習しました。

11月と12月には障害者施設に行って、年賀状作成の講座を開催しました。身体障害者施設の聴覚障害者には筆談を使って、知的障害者にはパソコン用語は使わずに易しい言葉を使って説明。各グループとも2回開催しました。開催の前には、大きなキーボード表を作ったり、マウスの使い方を図で作成したり、わかり易い講座にするために役立つものはシニアさんたちが工夫して作成しました。



地域課題解決型協働事業

子育て仲間で支え合い保育事業

(特) 新座子育てネットワーク

(新座市)

子育て中の母親が活動の中核となり、行政と連携して地域子育て支援や家庭教育支援、子育て情報の提供などに取り組み、2003年の法人化後は子育て支援センター・つどいの広場・児童センターの受託運営も行っています。全国の子育て支援を牽引する団体として、政府・自治体・企業との連携事業も多く、全国各地に提供する父親支援事業や国際NGOや大学と協働している東日本大震災被災地支援など、子育てNPOとして埼玉県を越えて活躍しています。



「親同士で子育てを支え合おう」をコンセプトに創出された「なかまほいく・にーによ」は、「子どもの預け合い」を特長とした次世代型サークル活動。

支え合い精神が希薄になった地域コミュニティで、共生社会の再生に挑戦しています。「なかまほいく」は、子育て家庭同士が手を繋ぐことで共助の心を育む場となっていることはもちろん、親の子育て力が向上する、異年齢の子ども同士が交流できる等、親子がともに学び、成長し合う場としても大きな役割を果たしています。「孤立した子育て」から「共助の子育て」へと転換を図ることの重要性に気づいた事業利用者たちは、口コミでその輪を広げ、主体的な活動を続けています。今年度は県内で活動する子育てNPO団体や行政機関等へ啓発事業も実施、今後は県域で、子育て仲間で支え合う「なかまほいく」の機運が高まることを期待しています。

素敵に加齢する団地をめざす

「新生ハイツ35年プラン」の策定と事業の推進

(特) グリーンオフィスさやま

(狭山市)

「安心して楽しく住み続けられる街の実現」を目的に、環境保全活動支援（緑地の管理運営、わくわく自然園の管理運営、生ごみリサイクルなど）、地域活性化支援（楽農クラブの運営、各種工作物の製作、遊びの出前など）、情報化支援（印刷物の企画・編集・印刷、パソコン教室の開催、催しのビデオ収録・編集など）、福祉活動支援（有償生活支援サービスなど）、住宅管理支援（管理組合活動やコミュニティづくり）に取り組んでいます。高齢世代はもとより若い世代にとっても安心かつ楽しく住み続けられるコミュニティの維持・発展という地域課題を解決するため、「素敵に加齢する団地をめざす—新狭山ハイツ35年プランの策定と事業の推進」に取り組みました。



2年度目の本年度は、たまり場・つどいの場機能の強化をめざし「コミカフェ・ココベリーの試行継続」、環境の付加価値化をめざし「ガーデニングクラブ発足の足掛かりづくり」、文化的環境の向上をめざし「手作り作品展の開催」及び「ブックスタートの着手」、住民福祉の向上をめざし「移動・買物支援の検討」や「共助を考える講演会の開催」、情報発信機能の強化をめざし「HPのリニューアル」「ハイツの魅力をアピールするメッセージの作成」「ハイツの基本的な情報のアーカイブス化」などに取り組みました。

効果的・効率的・魅力的な学習による

市民の救急医療リテラシー向上事業

(特) 救急医療の質向上協議会

(越谷市)

「救急医療の質向上協議会」は2005年3月に設立されたNPO法人です。通称「CATS(キャッツ)」は、Caregiver Associates for Total Satisfaction in Acute Medicineを略したものです。Caregiver(ケアギバー)とは、病院、介護施設、在宅ケア、屋内外を問わず、「医療・介護・応急手当を提供する人」を意味しています。救急現場では、「もっと早く正しい対処をしていれば最悪の事態にはならなかった」ということを数多く経験しています。そこで私たちはこのような事態を撲滅するために、医療関係者はもとより一般の方へも傷病に迅速かつ適切に対応するためのトレーニングを提供しています。

熱中症や窒息などの応急処置、急な心停止をきたす代表的な疾患や脳卒中の早期発見も含め、市民が遭遇する様々な症例に対応できるようなオリジナル市民向け教材を作成・オリジナル教材を使用した講習会を企画運営し、市民の医療リテラシー(※)向上を目指します。サイエンスを基礎とした教材作成と学習システムの開発により、訓練された市民が地域社会の中で市民の医療学習を支援できるよう「市民インストラクター」を育成し市民のみで講習会を開催できるシステムを構築します。



(※) 医療リテラシーとは
急な傷病の知識、発症パターン、気づき方、気づいた時にとるべき行動についての知識、実際に行動するスキル



発見！秩父地方の養蚕業と歴史的建造物群

(解説と映像による、子供達を中心とした、郷土愛の育成と文化財保護意識の啓発)

(特)文化遺産保存のための映像記録協会

(さいたま市)

後継者問題で継承が難しい無形文化財や保存・維持することが困難な有形文化財の映像制作を通して記録・保存し、更に制作した映像を活用することにより、文化遺産保存の必要性を喚起・啓発する活動をしています。

平成23年度から「発見！秩父地方の養蚕業と歴史的建造物群（解説と映像による、子供達を中心とした、郷土愛の育成と文化財保護意識の啓発）」という事業で助成を受けておりますが、H24年度は、前年度に収集した情報等に基づき、これらを映像化したDVDを完成いたしました。

昭和の初めまでは、絹は日本経済を支える重要な輸出品であり、秩父地方は、良質な繭を産出する日本を代表する地域として知られていました。秩父地方には、この証としての有形・無形文化財が数多く残されているにも拘らず、十分に認識されているとは言えず、また、数は激減したが脈々と続けられている養蚕業の実態もほとんど知られていません。そこで私達は、H23年度に養蚕業、織物業に関連する有形・無形文化財に関する実態調査及び取材を行い、H24年度に収集した情報を映像化したDVD「秩父はカイコの王国だった」（21分）を作成しました。このDVDを秩父地方及び埼玉県内各地の学校等へ提供したり、上映会を実施しております。これらの活動をとおして、将来を担う子供達を中心に「郷土愛」や「郷土への誇り」の育成と「文化財保護の重要性」を啓発する活動を行っています。



NPO元気なまちづくり助成事業

【活動拠点の整備事業】

まちなえんがわ しっきーずカフェ開設事業

(特)志木総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ(志木市)

地域の人たち自らが、スポーツ・レクリエーション・健康づくりを通じて、自分の地域の課題を解決することを目的とする総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ（(特)クラブしっきーず）です。

少子高齢化・核家族化を背景に、人と人とのつながりが薄れがちですが、多種目・多世代が特徴の当クラブで「身体活動」をきっかけに出あった住民同士がより交流できるよう、まちなえんがわ「しっきーずカフェ」をオープンしました。



1階店舗スペースでは、お茶を飲みながらおしゃべりができ、地域の福祉事業所の食品等販売もします。ダイニング&キッチンスペースや2階和室では、みんなで作って食べる「オヒマチ」、また、独立した洋室2部屋はスタディールーム、ステイルームとして、スクール（英会話・パソコン等）や病児保育などの地域支援合いを行います。

立地条件に恵まれた良い施設が、今回の整備助成によって、より多くの方々のより多様なつながりを生み、志木のまちが一層元気になっていく予感がクラブ内外にあります。





◎共助社会づくり支援事業

H25新規

NPO法人が市町村等と連携し、地域課題を解決するために実施する取組に対して助成します。

◆補助額及び補助上限額

(1) NPO法人及び市町村が連携して実施する取組
補助率4/5以内 補助上限額 50万円

(2) (1)を含め、3主体以上の連携による取組
補助率4/5以内 補助上限額100万円

◎共助モデル推進事業 H24～（地域課題解決型協働事業H23～含む）

「日本一の共助県づくり」を目指した取組として、NPOが「つなぎ役」となり、地域における共助の仕組みを構築する事業等に対して助成します。

（共助モデル事業はH24から、地域課題解決型協働事業はH23からの継続事業です。）

◎NPO活動促進助成事業

NPO基金の「分野希望寄附」を原資とした①NPO活動サポート事業と、「団体希望寄附」を原資とした②みんなでサポート事業があります。

①NPO活動サポート事業

埼玉県内を拠点としたNPO法人が、NPOならではの独創的なアイデア・先駆的な視点で実施する取組に対して助成します。

【H25年度の募集分野】

※分野指定枠：

①環境保全 ②まちづくり ③みどりと川の再生

※ネーミング事業：

- ①(一財)さいたま住宅検査センター
まちづくり・住環境向上事業
- ②キリンビールマーケティング(株)埼玉支社 地産地消・食育応援事業
- ③武蔵野銀行子育て支援事業
- ④金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業
- ⑤株式会社富士薬品ドラッグセイムス環境保全支援事業

②みんなでサポート事業

団体希望寄附を受けた基金登録団体が、「みんなでサポート事業」に応募することで、助成を受けられます。

応募の機会は年度内に3回あります。
（4月募集、9月募集、12月募集）

基金登録団体の日常の活動を、寄附金を原資として財政面でバックアップしていきます。

◎NPO元気なまちづくり助成事業

①活動拠点の整備 【補助率4/5以内 補助限度額 50万円～200万円】

NPO法人が住民交流を促進することを目的として、県内に新たな活動拠点を整備する事業に助成します。

②地域資源の活用 【補助率4/5以内 補助限度額160万円～600万円】

歴史や自然など地域の資源を再評価し、郷土の誇るべき魅力としてまちづくりに活かすNPO法人の活動で、県内に住民交流施設を整備する事業に助成します。

◎中核的NPO育成事業

中間支援NPO法人が実施する、地域の中核となるNPO法人の育成事業に対して助成し、NPO法人の認定・仮認定の取得を支援します。

◎地域の共助社会づくりの担い手育成事業

地域において共助社会づくりの一翼を担うNPOの知識習得や地域課題解決力の向上を図るため、各地域振興センターがセミナーや交流会等を開催します。



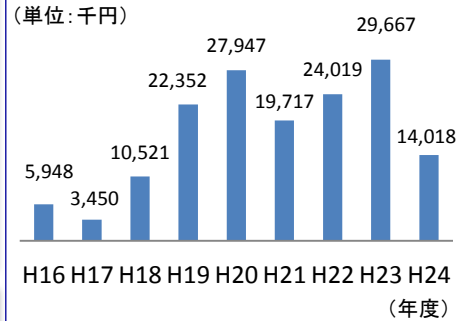
埼玉県NPO基金を支える3つの寄附方法

NPOを広く支援するなら

一般寄附



埼玉県NPO基金への寄附額推移



県で実施するNPOへの助成事業を始め、NPO支援に係わる幅広い用途に活用されます。NPO支援にもっとも柔軟に対応できる寄附方法です。

一般寄附の推移

(単位:千円)

| H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | 累計 |
|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-----|-------|--------|
| 2,958 | 2,381 | 3,146 | 2,746 | 13,613 | 1,487 | 2,316 | 663 | 1,336 | 30,646 |

支援したい分野があるなら

分野希望寄附

特定非営利活動促進法（NPO法）に定める活動分野をもとに、支援したい分野を指定する寄附方法です。

保健・医療・福祉

社会教育

まちづくり

学術・文化・
芸術・スポーツ

環境保全

災害救援

地域安全

人権・平和

国際協力

男女共同参画

子どもの
健全育成

情報化社会

科学技術

経済活動

職能開発・
雇用拡充

消費者保護

観光振興

農山漁村・
中山間地域支援

NPO支援

地産地消・食育★、みどりと川の再生★
災害救援・避難者支援★

50万円以上の分野希望寄附の場合、左記分野の★印がついた分野のように、具体的な活動分野も指定できる「ネーミング事業」もご利用いただけます。「ネーミング事業」についてはP5の説明をご覧ください。

※基金登録団体は、下記ホームページで確認できます。

「NPO情報ステーション」
(NPOコバトンびん)

<http://www.saitamaken-npo.net/>

【トップページ】

このバナーが目印です。

【埼玉県NPO基金】



【「基金登録団体」のご紹介】

情報は随時更新しています。団体希望寄附先として指定したい団体が登録されているか、事前に御確認ください。(お電話でも確認いただけます。048-830-2828)

団体希望寄附でいただいた寄附金は、指定された団体が「みんなでサポート事業」に応募し、助成を受けることで活用されます。

助成にあたり審査があります。また、一年度内の助成金額の上限は200万円となります。



支援したい団体があるなら

団体希望寄附

基金登録団体（※）の中から、地域や身近で頑張っているNPOや、活動目的に共感できるNPOなど、応援したい団体を指定できる寄附方法です。

なお、団体希望寄附のうち一部の寄附金は、一般寄附として受入れ、広くNPOの支援に活用させていただきます。

団体希望寄附を御希望の場合は、右の欄もお読みください。

団体希望寄附の推移

(単位:千円)

| H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | 累計 |
|-----|-----|-------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|
| — | — | 6,374 | 17,192 | 11,136 | 8,504 | 9,802 | 16,922 | 8,469 | 78,400 |

皆様からのご寄附をお願いします



埼玉県NPO基金への寄附は、地方公共団体（埼玉県）への寄附として、税法上の優遇措置が受けられます。

個人の
みなさま

所得税や住民税が寄附額や所得等に応じて控除されます。
(2千円を超える寄附が対象。)
【ふるさと納税】

法人の
みなさま

寄附金額の全額を、損金算入することができます。

※ 手続き方法や具体的な控除金額等の詳細は、お手数ですが、埼玉県税務課までお問合せください。
(TEL 048-830-2659)

さらに、個人で10万円以上・法人で50万円以上ご寄附をいただくと…

- ◎ 知事から感謝状を贈呈いたします。(1万円以上の寄附で「協力証」を贈呈。)
- ◎ 法人の場合、ご希望により『埼玉県NPO情報ステーション』にバナー広告を掲載できます。
- ◎ 50万円以上の分野希望寄附をいただいたときは、助成事業に社名や商品名等の愛称をつけることができます(ネーミング事業)。

NPO基金の活用状況・NPO活動情報など、情報が満載！
ぜひご覧ください。

ホームページ『埼玉県NPO情報ステーション』 (NPOコバトンびん)

<http://www.saitamaken-npo.net/>

コバトンびん

検索



県内のNPO活動や共助の取組を支援する様々な情報をfacebookで発信中！

Saitama 共助Style

saitama 共助

検索

<http://www.facebook.com/saitama.kyojo.style>

お問い合わせ先

埼玉県 県民生活部 共助社会づくり課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL:048-830-2828 FAX:048-830-4751

